



学校だより

8・9月号
横浜市立桜台小学校
令和6年8月27日発行



HPはこちらから

誰もが安心・安全な学校をめざして

校長 中村 真弓

連日のように熱中症警戒アラートが出される暑い夏休みでした。ここ数年は毎年のように「例年のない暑さ」と言われており、日本の夏は以前より暑くなったように感じます。夏休み前後も厳しい暑さの期間が長くなり、学校の一般教室にエアコンが入ったのは約10年前ですが、それ以前はどうやって過ごしていたのだろう、と考えてしまいました。

8月に入り、8日には日向灘を震源とする大きい地震がありました。南海トラフ巨大地震の注意情報が出され、地震への備えをと気持ちが引き締まったところへ神奈川県でも地震がありました。100年前の関東大震災の震源に近いところが震源でした。大きい地震が横浜で起きる可能性は高くなっているのだと思いを新たにしました。

学校では8月30日に大地震の発災を想定した総合防災訓練を行う予定です。震度6以上の地震が起こった場合を想定し、実際の場面を思い浮かべながら行います。実際に授業中に保土ヶ谷区で震度5強以上の大きい地震が発災した場合は、児童は学校に留め置いて、保護者の方に引き渡します。同時に、桜台小学校防災拠点の避難所が開設され、地域の方々が避難して来られます。地震が起こる曜日や時間帯によって様々な状況が想定されます。今一度様々な状況を念頭に、シミュレーションを行う必要を痛感しています。

いよいよ秋に向けての学校生活がスタートします。学校生活のリズムを思い出し、学習や行事に向けての活動に子どもたちが集中して取り組めるように支援して参ります。また、学校に関わる全ての方にとって、学校が安心・安全な場所となるよう、全職員で力を尽くしていきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

